



# 令和8年度 東京都立松原高等学校定時制課程 学校経営計画

スクール・ミッション		
<p>「人格の完成を目指し、有為な社会人を育成する」を目標とし、基礎学力を定着させる授業、社会とのつながりを一歩ずつ体感させるキャリア教育、近隣大学や地域、家庭等と連携した教育活動を通じて、社会の変化に対応し、様々な問題に対して課題解決ができる人材、社会の要請に応え社会に必要とされる人材を育成します。</p>		
目指す学校		
<p>本校の教育目標である「人格の完成を目指し、有為な社会人を育成する。」を実現するため、教職員を含む「チーム学校」としての力を結集し、次のような学校づくりに努める。</p> <p>(ア) 社会人として必要な資質を備えた人材を育成する学校。</p> <p>(イ) 社会の一員として責任ある態度で生きる力を育成する学校。</p> <p>(ウ) 生徒や保護者からの期待に応えると共に、都民からも信頼される学校。</p> <p>これらの実現のために、「スクール・ポリシー」も踏まえた以下の目標を設定し、達成に向けた方策に取り組む。更に、「しっかり、ゆっくり、一歩ずつ」を基本方針とした指導により「地域で一番面倒見のいい学校」を目指す。</p>		
中期的目標と達成に向けた方策 (方策：1～6)	今年度の取組目標と達成に向けた具体的方策 (目標：ア～、・/方策：①～)	具体的な方策に関する数値目標
<p>1 基礎・基本を確実に身に付ける指導 (学習指導)</p> <p>(1) 「主体的な学び」の実現</p> <p>(2) 協働学習の充実</p> <p>(3) 探究活動の推進</p>	<p>ア 基礎、基本の定着 (基礎学力の定着)</p> <p>① 欠席をしない、授業に主体的に取り組む姿勢、態度を育む。</p> <p>② 小テスト、課題学習を生徒が理解できるまで繰り返し取り組む習慣を付ける。</p> <p>イ 思考力・判断力・表現力の向上 (知的好奇心、読書活動の充実)</p> <p>① 自分の考えを文章にさせ、発表させる。</p> <p>② 英語の授業の中で、海外の生活について触れ、グローバル人材として意識付けを行う。</p> <p>ウ 生徒一人1台端末の活用 (生徒の興味・関心、わかりやすい授業)</p> <p>① 授業時などにおける Teams、Forms 等を効果的に活用する。</p> <p>・協働学習の充実 (主体的、対話的な学び)</p> <p>① ペアワーク、グループワークを活用し、協働した学習空間を作る。</p> <p>② 発表・討論を取り入れた授業の充実を図る。</p> <p>・探究学習の充実</p> <p>① 「総合的な探究の時間 (人間と社会)」の中で TIPS-Type 2 を活用し、仲間と協働して課題等に取り組む姿勢、集団をまとめる力、牽引力、社</p>	<p><b>【学校評価アンケート 学習に関する満足度 肯定的な評価 85%以上】</b></p>

<p>(4) 個別最適な学びの推進</p>	<p>会人基礎力を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に生徒の理解度に応じた学習を行う。</li> <li>① 授業前、放課後等の個別指導を実施する。</li> <li>・継続的な学びの推進（補習・講習を活用した学習支援の充実）</li> <li>① 長期休業中を含め、補習、補講を行い、生徒の理解を深める。</li> <li>・体験的、実践的な学びの推進</li> <li>① 外部機関と連携した体験的な学習を実施する。</li> </ul>	
<p>2 自己の在り方・生き方を主体的に考える指導 (生活指導)</p>		
<p>(1) ルール・マナーの遵守、重視</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導統一基準等に基づく指導の推進</li> <li>① 思いやりと優しさをもった指導を徹底する。</li> <li>② 各種調査（いじめ等）の実施と検証、いじめ体罰の根絶、その防止の徹底を図る。</li> <li>③ いじめに関する研修や授業の実施。</li> </ul>	<p>【いじめの校内研修を3回以上実施する。】 【いじめに関する授業を3回以上実施する。】</p>
<p>(2) よりよい人間関係の形成、その育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動と学校行事での自他を認め、尊重し合う精神の涵養</li> <li>① 学校行事（スポーツ大会・文化祭など）を計画的に実施する。</li> <li>② 部活動に積極的に参加し、生徒自らがそのよさや強みを伸長する機会を増やす。</li> <li>③ 学年学級経営の充実化を図り、生徒のよさを伸ばしていく。</li> <li>④ 特別支援教育を推進し、多様性について生徒に理解させる。</li> </ul>	<p>【部活動参加率 65%以上と学校行事への参加率 90%以上】</p>
<p>3 社会の一員としての資質・能力を身に付ける指導 (進路指導)</p>		
<p>(1) 組織的なキャリア教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部と学年が連携した指導の充実</li> <li>① 進路指導部主導による計画的なキャリア教育を推進する。</li> <li>② 全学年、生徒の面談指導（必要に応じて保護者含む）の充実を図る。</li> <li>③ 進路ガイダンスや上級学校訪問、ハローワークとの連携を充実させる。</li> <li>④ インターンシップ等の体験学習の充実を図る。</li> <li>⑤ 豊かな人権感覚のもとに協働作業の取組を実施する。</li> </ul>	<p>学校評価アンケート 進路に関する満足度 90%以上</p>
<p>(2) 自立心と向上心の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する進路の実現</li> <li>① 進路面談、進路面接指導の充実を図る。</li> </ul>	<p>【卒業時の進路決定率 100%】</p>

<p>4 安心・安全な学校づくり (学校運営)</p> <p>(1)安全教育、健康教育の推進</p> <p>(2)コンプライアンスを重視した業務遂行</p>	<p>② 大学進学者等の総合型入試を見据えた面接指導と小論文対策等を充実させる。</p> <p>・自助、共助の精神の育成</p> <p>① 「学校健康推進計画に基づく学校保健指導の充実により、健康や体力の向上を目指す。</p> <p>② 東京都児童生徒体力運動能力生活運動習慣等調査を実施する。</p> <p>・安全指導、健康指導の徹底</p> <p>① 保護者と連携による食事、睡眠、運動の大切さを理解促進する指導を行う。</p> <p>② 交通安全（自転車通学のヘルメット着用の推奨）、情報モラル（SNS）の指導を徹底する。</p> <p>④ 「自殺対策基本法」等に基づく、生命尊重を重視した指導を行う。</p> <p>⑤ 性教育、がん教育を実施する。</p> <p>⑥ 不登校等に対応したスクールカウンセラーによるカウンセリングを行うことで中途退学者を抑制する。</p> <p>⑦ SOS の出し方に関する講話を実施し、生徒に相談先を知らせる。</p> <p>・都民に信頼される学校づくり、説明責任を果たす業務遂行</p> <p>① 教職員（職員室と経営企画室）が連携した経営参画型の業務を遂行する。</p> <p>② 効果的な予算の編成、執行を行う。</p> <p>③ 個人情報適切な管理を行う。</p> <p>④ 校内美化（掲示物等を含む）を推進する。</p> <p>⑤ リサイクル等の環境を配慮したゴミの分別、縮減を図る。</p> <p>⑥ 施設設備の適正な管理を行う。</p>	<p>【ヘルメット着用率100%】</p> <p>【中途退学者2人以下】</p> <p>【SOS 講話を1回以上実施する。】</p>
<p>5 都民に向けた情報発信 (学校広報)</p> <p>(1)学校ホームページの充実</p> <p>(2)教育活動の広報</p>	<p>・計画的なホームページの管理</p> <p>① 学校ホームページの更新計画の策定、計画に沿った情報発信を行う。</p> <p>② 学校見学会・説明会等を計画的に実施する。</p> <p>③ 外部機関との連携による募集対策を強化する。</p> <p>・学校の魅力（よさ）を発信する。</p> <p>① 母校訪問等を実施する。</p>	<p>【学校HP更新70回以上】</p>
<p>6 質の高い教育の提供</p>	<p>・授業改善の推進</p>	<p>【相互授業参観 年間2</p>

<p>(1) 授業力の向上</p> <p>(2) 資質、能力の向上</p> <p>(3) 働き方改革の取組</p>	<p>① 相互授業参観を行い、他の教員の取組を自らの授業に取り入れる。</p> <p>ア 外部の研修の活用</p> <p>① 企業や教職員研修センター等の研修を活用し、教員の能力向上を図る。</p> <p>イ 校内研修の充実</p> <p>① 校内研修等とおし教職員が協同して、自校の教育課題の解決を図る。</p> <p>② デジタル技術を活用した教育の推進を目指す。</p> <p>③ 服務に関する研修を開催する。</p> <p>・教職員の意識変革と業務改善</p> <p>① 学校閉庁日の徹底を行う。</p> <p>② 基本的に定時退庁を行う。</p> <p>③ 在校時間の縮減（月間45時間）によるライフ・ワーク・バランスを実現する。</p> <p>④ 男性の育児参画を推進する。</p>	<p><b>回以上】</b></p> <p><b>【学校閉庁日6日間】</b></p> <p><b>【超過勤務者0を目指す。】</b></p>
---	---	---

スクール・ポリシー

1 グラデュエーション・ポリシー

基礎学力と社会人基礎力を身につけ、社会の変化に対応し、自らを変え続ける力を持てるように、生涯を通じて自ら学び、文化・スポーツに親しみ、地域社会への参加ができる大人になるために、つぎの三つの力を身につけさせる。

- ・計画を立て、仲間と協働して課題解決ができる力。
- ・基礎学力と社会生活の基本的なルールなどを守る力。
- ・急激な社会の変化に対応する力。

2 カリキュラム・ポリシー

- ・基礎学力の定着のために、ICTなどを活用し繰り返し学習を行う。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現、急激な社会の変化に対応する力をつけるために、「総合的な探究の時間」や多くの授業などにおいて、教科横断的な学習課題を設定する。上級学校、企業など地域と協力して課題解決型の学習課題を設定し、ICTを活用した仲間との協働学習や体験学習を計画的に行う。

3 アドミッション・ポリシー

・高校生活を通して、自分のよいところを発見しようとする意志や態度をもち、そのよいところを積極的に伸ばそうとする生徒。

- ・基礎的・基本的な学力と自己の向上のための学習や学校行事、部活動等に積極的に取り組み、自らの希望する進路を実現しようとする生徒。
- ・周りの人への思いやりや優しさをもち、他者の人格を尊重することのできる生徒。
- ・あいさつをする、時間を守るなど、社会生活での基本的なルールやマナーを守る生徒。
- ・地域や社会に貢献する意欲があり、ボランティア活動や地域活動を企画・提案するなど、積極的に取り組む生徒。